
八木駅南市有地活用事業
檀原市の観光施策の考え方

目 次

I.	観光振興の位置づけ	1
1.	広域的観光振興の拠点.....	1
2.	観光拠点機能の役割分担.....	2
II.	観光振興の方針	3
1.	観光振興の原点.....	3
2.	観光集客方法の転換.....	3
3.	観光資源と活用の展開.....	4
III.	平成 26 年度観光施策	5

I. 観光振興の位置づけ

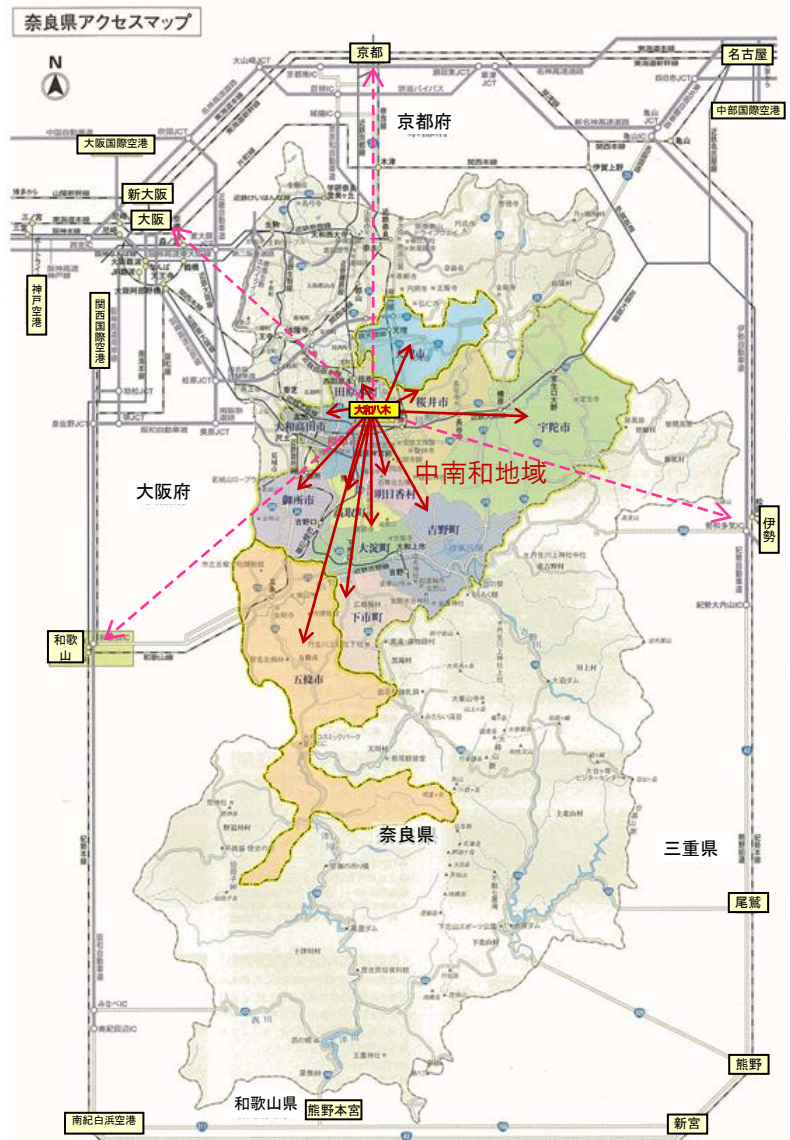
1. 広域的観光振興の拠点

近鉄大和八木駅は中南和地域の玄関口であり、且つ、奈良を始め大阪・京都・和歌山・三重等の近畿圏（以下「近畿圏」という。）の観光地へ周遊を行える位置にあります。周辺には豊富な観光資源があり、交通の要衝である近鉄大和八木駅を中南和地域、近畿地方一帯の広域的観光の拠点として位置づけ、広域観光の振興を進めています。

広域的観光振興の1つとして、橿原市は明日香村・桜井市そして奈良県と連携して「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」を提案し、平成19年1月30日に世界遺産候補として文化庁からユネスコに推薦され、世界遺産登録推進を行っているところです。

また、奈良県中南和地域の一体的な観光振興、観光事業展開を促進するため、現在橿原市では下記14市町村と中南和広域観光協議会を組織し、以下5項目に必要な事項について、調査検討を行い、協議を行っています。

- ① 自治体の観光資源を有機的に結び付け、広域的な観光施策展開の支援を行うこと。
- ② 観光情報の交流・交換を行い、当該情報を中南和地域全体で発信すること。
- ③ 広域的な観光テーマを設定し、観光モデルコースを創設すること。
- ④ 修学旅行を呼び込むためのソフトの開発を進めること。
- ⑤ 観光振興を担当する者の知識、識見、能力の向上に関すること。



広域観光拠点としての近鉄大和八木駅

中南和広域観光協議会

大和高田市	天理市	橿原市
桜井市	五條市	御所市
葛城市	宇陀市	田原本町
高取町	明日香村	吉野町
大淀町	下市町	奈良県

2. 観光拠点機能の役割分担

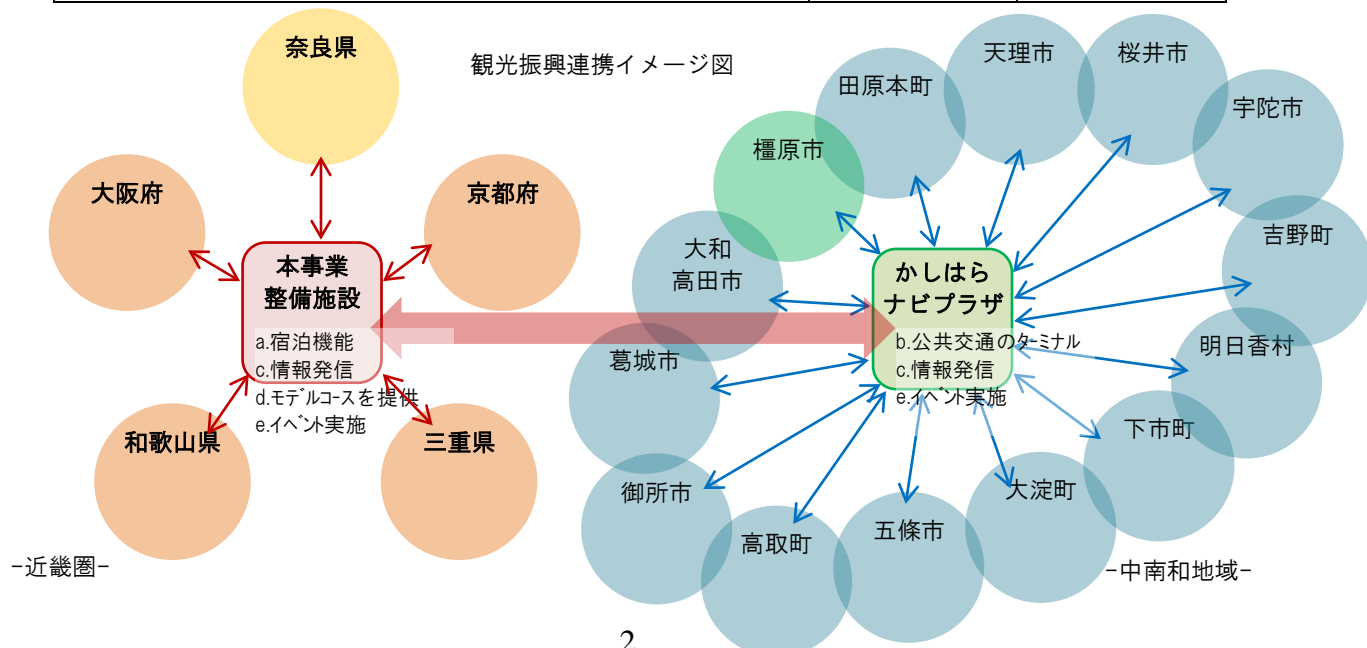
観光拠点として必要な機能として、下記5つが挙げられます。

No.	項目	内容
a.	宿泊機能	橿原市を拠点として観光できる宿泊キャパシティの確保
b.	公共交通のターミナル的機能	公共交通のターミナル駅として各地方へ出発できる機能
c.	情報発信機能	橿原市、中南和地域、近畿圏の観光情報を発信・提供できる機能
d.	独自の観光モデルコースの提供機能	利用者の要望にそったオリジナルの観光モデルコースを提供できる機能
e.	イベント実施機能	イベント実施

現在、かしはらナビプラザでは観光案内・交通案内・周遊バス乗り場・レンタサイクルを提供しており、あわせて併設するイベントスペースの運営・物産販売も行っていますが、上述5つの機能を満たすため、かしはらナビプラザの機能の充実を図ります。

本事業で整備する観光施設は、宿泊機能を担うとともに、かしはらナビプラザと連携し、観光拠点機能の一部を担う施設として整備します。

役割	かしはらナビプラザ	本事業整備施設
a. 宿泊機能	—	○
b. 公共交通のターミナル的機能	○	—
c. 情報発信機能	○	○
d. 独自の観光モデルコースの提供機能 (観光コンシェルジュ)	—	○
e. イベント実施機能	○	○



II. 観光振興の方針

1. 観光振興の原点

橿原市は日本書紀に「難波より京（飛鳥）に至る大路を置く」と記される竹内街道・横大路や、奈良盆地を南北に通る飛鳥の都に至る下ツ道・中ツ道等、古代より多くの古道が整備され交通の要衝として発展し、新沢千塚古墳群に代表される古代から近世に至る豊かな歴史文化遺産と優れた自然景観に恵まれた都市です。

また、日本で最初の条里制の都である藤原京が造営された地であり、「日本の原点」「日本のはじまりの地」といえます。

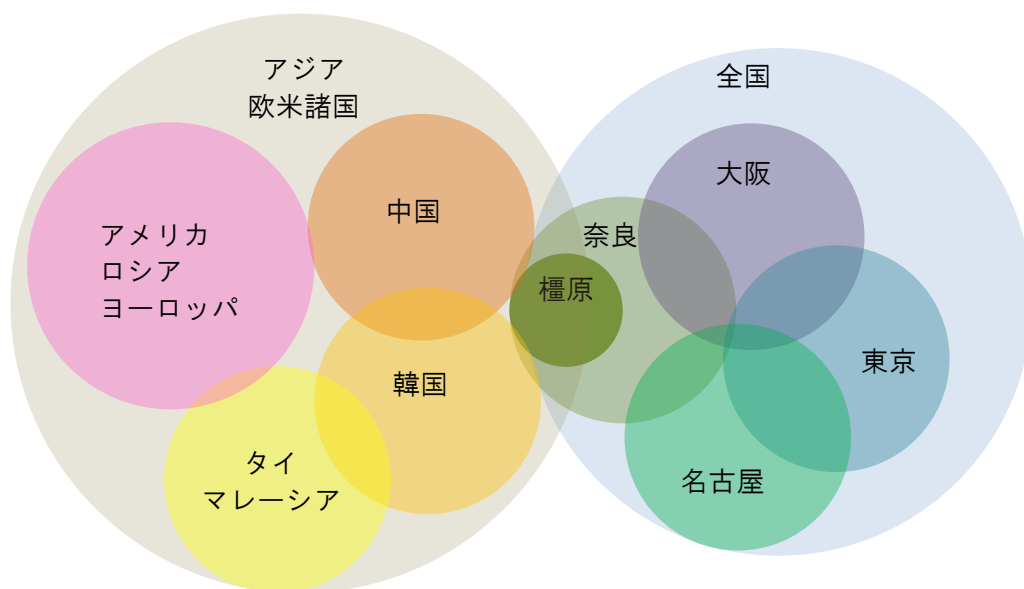
そして、江戸時代には大和一の商業都市として発展し、その当時の町並みが現在も残る今井町を有しています。

橿原市を含めた奈良県中南和地域全体が豊かな歴史資源の宝庫です。

2. 観光集客方法の転換

これまでは、観光政策はどちらかというとイベント中心主義で、イベントを開催することによって橿原市に來訪してもらい、その良さを知ってもらおうという手法でした。しかし、この様な手法ではリピーターや継続的な來訪につながりにくく、また、広告費はイベント事業費の5から10%で対応せざるを得ない状況であったことから、市民や近隣住民しか集まらない状況でした。

一方、平成20年の観光庁設置以降、平成24年には観光立国推進基本計画が閣議決定されるなど、観光振興は国の基本方針であることが明確にされています。インバウンド観光を視野に入れ、市外、県外からの來訪を増やすことを目標に置き、平成26年度からはイベント主義から広報広告に観光事業の軸足を移していく方針です。



広報広告対象範囲イメージ図

広域的な観光振興を行っていくことで、橿原市の橿原神宮、桜井市の大神神社と天理市の石神宮を同一ポスターでPRを行ったり、橿原市の今井町と五條市の新町通りと一緒に特集を組んだりすることが可能になり、よりPR力のある観光振興を行っていくことを目指しています。

また旅行会社の企画するパッケージツアーに依らない、個人旅行を希望する観光客のために独自の観光モデルコースを提案します。

近鉄大和八木駅から今井町、橿原神宮までの第1観光ルート、近鉄大和八木駅から八木町、下ツ道、藤原宮跡から香具山、明日香までの第2観光ルートを観光の基本ルートとし力強く運用していきます。案内版を適切な位置に数多く設置し観光客が自動的に導かれるような仕組みをつくります。

その他、高野山の厳かな魅力は日本人のみならず外国人観光客の間にも魅力的であり、吉野・高野山・熊野と飛鳥・藤原宮都とを組み合わせたツアールートを検討します。また、東京から南紀白浜空港に降り立ち、熊野古道である中辺路から竜神高野を経て、橿原に至るルートも検討していきます。

3. 観光資源と活用の展開

橿原市の観光資源としては、「藤原宮跡」「今井町」「橿原神宮」が主な観光名所となっています。それ以外に、八木町には今井町の500軒には及ばないものの300軒もの古民家が残っており、特に札の辻周辺は面的に町並みも美しく、重要伝統的建造物群保存地区に匹敵する歴史遺産です。

一方で畝傍高校や旧第六八銀行、八木聖公会教会などの洋風建築も存在し、裏手には古びたアパートやほこら、銭湯、ユニークな商店もあるという昭和の香りを残す貴重な観光資源といえます。

「今井町」に加えて近鉄大和八木駅周辺の「八木町」も橿原市観光の柱とすることで観光の広がりを形成していく方針です。



III. 平成26年度観光施策

観光パンフレットのリニューアル・新規作成

No.	項目	内容	備考
1	かしはら観光ガイドの 全面改訂	初版より7年以上経過し、増刷を繰り返していることから、新たな本市の魅力、違う視点でのアピール等を加えた新たな総合観光パンフレットを作成する。	英語版、 中国語版、 ハングル版
2	(仮称)「かしはらラリー」の 新規作成	代表的な1日コースのルートマップではなく、市内の各鉄道駅から2Km程度のミニコースを設定し、来訪者が目的に応じて組み合わせてウォークすることができる仮称「榎原ラリー」を作成する。	
3	観光リーフレット (英語版)	観光パンフレットのダイジェスト版であるリーフレットの英語版を増刷することで、インバウンド等海外旅行者に本市の魅力をPRする。	

大規模な広報展開

No.	項目	内容	備考
1	首都圏PR広告	首都圏PR広告(駅ポスター)のためのオリジナルポスターの作成。榎原市の魅力、催事を大都市圏(東京・名古屋・大阪)にPRすることで、宿泊を伴った誘客につなげる。具体的には大都市圏の乗降客の多い駅構内の広告スペースにオリジナルのPRポスターをそれぞれ掲出する。	東京 大阪 名古屋 近鉄沿線主要駅
2	東京での観光客イベントの実施	首都圏において榎原市の魅力を発信するため、藤原京を舞台にした漫画「天上の虹」の作者である里中満知子氏、榎原市を舞台にした映画「朱花の月」を作成した監督の河瀬直美氏と出演者のドリアン助川氏、そしてH25年開催の横大路1400年記念国際シンポジウムの講師の王勇氏(いづれも案)を迎えて、榎原の魅力についての講演、ならびに映画「朱花の月」や春の神武祭映像、観光PRビデオ等の上映を行い、視覚的にも訴える。	山手線沿線のホールを 予定 11月末~12月・1月くらいを予定
3	姉妹都市連携観光プロモーション事業	観光庁の主体による「観光プロモーション in 羽田空港」に姉妹都市宮崎市と連携して出典する。羽田空港国際旅行ターミナルにおけるブース展示などによる観光プロモーションを3日間実施。	アンケート調査実施

4	大都市圏観光セールス事業	首都圏・中京圏からの誘客を増進するため、現地の旅行代理店の商品企画部門、旅雑誌の出版社などに櫃原市の魅力を売り込む活動を展開する。	首都圏 中京圏
5	雑誌掲載	取材形式の広告（記事）として、櫃原市の魅力、催事にターゲットを絞った月刊誌に掲載する。	全国紙

その他

No.	項目	内容	備考
1	宮崎市御神幸祭への女帝パレード	平成 26 年度に宮崎市制 90 周年を迎える宮崎市側からの要請により、平成 24 年度の古事記 1300 年と同様に宮崎市御神幸祭の女帝パレードに観光親善大使「さらら姫」を参加させる。	
2	観光道標シート張替	現在 110 基にのぼる観光道標の多数が、経年による色褪せ、剥離のため判読困難となっていることから、全数の表示シートを平成 26 年度から平成 28 年度の 3 カ年で張り替える。	英語版、 中国語版、 ハングル版 を同時作成
3	観光協会ホームページリニューアル	思わず見たくなるホームページへとデザイン、バナーを変更するとともに、SNS 機能（Twitter、Facebook）を追加、宿、店等の詳細な紹介も行う。	

全国観光ボランティア大会誘致費用

1	全国観光ボランティア大会報償費	26 年秋に奈良県内で開催される全国観光ボランティア大会を櫃原市内に誘致すべく、地元アトラクション、地元物産などの提供を行う。	
---	-----------------	---	--